



『しょうたとなつとう』
ほしかわ こ しやしん ぶん
星川 ひろ子 / 写真・文
(ポプラ社)

おじいちゃんといっしょに大豆を育て始めたしょうたは、みそやしょうゆも大豆からできると知ってびっくり。そんなしょうたに、おじいちゃんから体によくおいしい特別ななつとうを作ってくれます。なつとうぎらいのしょうただけれど、ぶじに食べられるのかな…？



『おじいちゃんのカブづくり』
つちだ よしはる / 作・絵
(そうえん社)

ほのかのおじいちゃんは、山形県鶴岡市の山でカブを作っています。「焼畑」という方法で作られるカブは、そのままだとちょっとからいけど、おつけものにするともあまくておいしい！カブづくりの一年を描いた絵本です。



『おすしのさかな』
(ひさかたチャイルド)

まぐろ、あじ、えび…。海にいる生きものが、どうやってみんなが大好きなおすしになるか知っているかな？海で泳いでいるすがたから、おすし屋さんでおすしになるまでを、わかりやすく描いている写真絵本です。



『ひものでございっ！』
ひらた まさひろ ぶん ひらた けい え
平田 昌広 / 文 平田 景 / 絵
(文化出版局)

かぞく 家族でとまった海辺の宿の、朝ごはん。「ぼくも、おこさまメニューじゃなくて、魚のひものが食べたい！」っていったら、とうちゃんが最高においしいひもの作り方を教えてくれた。まだ食べたことのない子だって、きっとひものが食べてみたくなっちゃうよ。



『とらばあちゃんのうめしごと』
いちかわ けいこ / 文
たるいし まこ え
垂石 真子 / 絵
(アリス館)

木のぼりだっておとくいのとらばあちゃんからおそわるのは、はじめてで大切なことばかり。むかしの人の知恵がたくさんつまったうめしごと、いっしょにやってみたらちよっぴりおとなになったかな？



『ぷるぷるやわらか！とうふ』
にほんとう ぶん きょうかい かんしゅう
日本豆腐協会 / 監修
(チャイルド本社)

どうやって、かたくて茶色い大豆から、まっしろでぷるぷるのとうふが作られるの？とうふの「フーぼう」といっしょにとうふのヒミツを探りに行こう！畑にうえられた大豆がおいしい湯とうふになるまでが、ぱっちりわかるよ。



『うどんはどこからきたの？』
よしだ たかこ さく
吉田 隆子 / 作
せべ まさゆき / 絵
(金の星社)

おばあちゃんといっしょに、うどん作りに挑戦するななちゃん。かわいた茶色の麦からできあがったのは、おいしそうなもちもちのふみふみしこしこうどん。読んだ後はきっと親子でうどんを作りたいくなるはずですよ。

そだてる



つくる



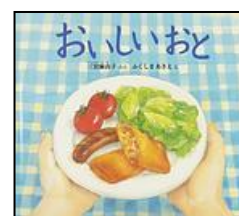
しっかり食べる



たべもの

27冊
がテーマのえほん

2014 第56回 こどもの読書週間 『いつもいっしょ、本といっしょ。』



『おいしいおと』
さんのみや まゆこ
三宮 麻由子 / ぶん
ふくしま あきえ / え
(福音館書店)

はるまき食べよう、カコツ ホツ カルカルカル…。かぼちゃも食べよう、モモツ ポフポフ…。おなかすいてくる、おいしい音が聞こえるよ。みんなが食べるとどんな音がするのか。ごはんの時間が楽しくなる絵本です。



『いもほりコロッケ』
おだ しんいちろう / 文
こば ようこ / 絵
(講談社)

学校のみんなとじゃがいもほりにでかけた、まきおくん。むちゅうでほって帰ってきたら、今度はおかあさんといっしょにコロッケ作り。どろんこじゃがいもが、ほくほくコロッケに変身するようすが楽しめます。



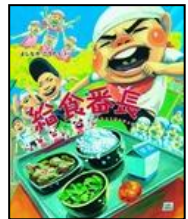
『サンドイッチサンドイッチ』
こにし えいこ
小西 英子 / さく
(福音館書店)

サンドイッチ、さあつくろう！ふわふわパンに、なにのせる？まっかなトマト、大きなチーズ。リズムカルな言葉といっしょに出てくる食べものがおいしそう。読み終わったら、まねして作ってみてくださいよ。



『カレーのひみつ』
(ひさかたチャイルド)

みんなが大好きなカレーライスを作るよ。からくておいしそうな香りがたまらない！カレールウもスパイスから自分で作っちゃおう。カレーライスのひみつにせまる写真絵本。



『給食番長』
よしなが こうたく／さく
ながきまきつぼん
(長崎出版)

わんぱく小学校 1年2組の
番長たちは、きれいな給食を残してすぐに
遊びにいてしまいます。怒った給食のおば
ちゃんたちが「もう作りません」と家出をして
しまったので、かわりに番長たちがみんなの
給食を作るようになったけれど…?



『きゃつきやキャベツ』
いわさ ゆうこ／さく
どうしんしゃ
(童心社)

キャベツのはっぱは、どこまで
むける？ 1まいずつむきながら、リズムにのって読ん
でみよう！ ちびっこ芽キャベツ、むらさきキャベツ、
なかまもたくさん出てくるよ。本物のようないつくしい
絵で広がる、キャベツの世界。



『あっちゃんのはたけ』
おおにし ひろみ／作・絵
(ひさかたチャイルド)

あっちゃんの野菜ざらい
を心配したおばあちゃんは、畑にきゅうりをう
えるお手伝いをおねがいました。大きいな
野菜を育てるなんて…とはじめはいいやだ
ったあっちゃん。でも、大きくなるきゅうりを見
ているうちにだんだん楽しくなってきた。



『ぼくのぱん わたしのぱん』
かんざわ としこ
神沢 利子／ぶん
はやし あきこ
林 明子／え
(福音館書店)

パン屋さんにならぶいろい
ろなパンは、どれもおいしいそう。パンはなにから
できるのかな。ぼくたちも作ってみよう。3人の
きょうだいが、粉をふるったり、生地をこねたり。
パンの作りかたがわかりやすくていねいにか
かれています。



『ありがとう！きゅうしよく』
ひら た まさひろ
平田 昌広／ぶん
ひら た けい
平田 景／え
(大日本図書)

給食って、だれがどうやって作っている
の？ 材料はどこからくるの？ かわきた小
学校のみなといっしょに給食センターを
見学しよう！ 「全国おいしい給食マップ」の
ページもあっておもしろい、生活科の絵本。



『うちは精肉店』
もとはし せいいち しやしん ぶん
本橋 成一／写真と文
(農山漁村文化協会)

北出さんの店は、江戸時代から
続く肉屋さん。育てた牛を自分たちで肉にしてき
ましたが、その仕事も今日が最後です。牛に感謝
し、誇りを持って続けてきた北出さんの仕事のよう
すを、モノクロ写真でいねいに伝えます。食べる
ためにいのちをいただくとはどういうことなのかを
考えさせられる一冊です。



『いろいろごはん』
やまおか ひかる／作
(くもん出版)

「ごはんよごはん、なにになる？」楽しいリ
ズムにのって、ごはんが変身。どれもとって
もおいしいそう。かわいらしいごはんの表情
に、子どもたちも思わずにっこり。



『ジャムつきパンとフランス』
ラッセル・ホーバン／さく
リアン・ホーバン／え
(好学社)

ジャムが大好きなフランスが食べるのは、毎日
ジャムつきパンばかり。はじめてのものはぜったい
食べないフランスの食わずざらいをなおした、お
かあさんのアイデアとは？ フランスの歌とおいし
そうな食事がすてきなロングセラー絵本。



『やさいのおしゃべり』
いずみ なほ／作
いもと ようこ／絵
(金の星社)

あれ？ れいぞうこから声がする！ 「いたた
…すりむいちゃった」「もう ふにやぶにやに
なっちゃうよ…」食べものたちの願いは、すて
られてしまう前においしく食べてもらうこと。
みんなのおうちのれいぞうこはどうか？



『おべんとうさんいただきます』
ほりかわ まこと さく え
堀川 真／作・絵
(教育画劇)

「いただきます」は、みんなのいのち
にいうことば。食べものを通して、私たちがいのちの
つながりの中にあることに気づかせてくれる一冊
です。おべんとうはこのむこうに、広い世界が見えて
きます。

こちらもおススメです

きょうじ
行事の
由来も
わかる

- きりちゃんとおばあちゃんが行事の食べものを手づくりするシリーズ
- ★『おばあちゃんのおせち』 野村 たかあき／作・絵 (佼成出版社)
 - ★『おばあちゃんのえほうまき』 野村 たかあき／作・絵 (佼成出版社)
 - ★『おばあちゃんのおはぎ』 野村 たかあき／作・絵 (佼成出版社)



『おさじさん』
まつたに こ ぶん
松谷 みよ子／文
とうこうじ けい
東光寺 啓／え
(童心社)

ポッポー、ちいさなおくちにおさじさんが
おいしいおかゆをはこびます。食事をはじ
めたばかりのあかちゃんにやさしく語りか
ける、いつくしみにあふれた絵本。世代を
こえて読みつがれています。



『あれこれたまご』
とりやま みゆき／ぶん
なか しげる え
中の 滋／絵
(福音館書店)

お店のたなにおぎょうぎよくならぶ、たまごたち。
でも本当は、あれになりたい、あの人に買ってほし
いと、わいわいおしゃべりしているのです。さて、買
われた後はどんな料理になったかな？



『もったいないばあさんのいただきます』
しんじゅ さく え こうだんしゃ
真珠 まりこ／作・絵 (講談社)

好ききらいしていたら、もったいないばあさんが「もったいなーい」とやってくるよ。
やさいもお肉もお魚も、からだを育てる大事な食べもの。心をこめてお料理して
もらったものだから、「ありがとう」ってのこさず食べよう。